E950 ユーザーマニュアル

リリース v1.1.1

2026-09-02

目次

1 システム設定 **4**
1.1 ファームウェアバージョンの読み取り 4
1.2 工場出荷時設定に戻す 4
1.3 動作モード 4

2 電源管理 **6**
2.1 スリープ時間を読み取る 6
2.2 スリープ時間を設定する 6
2.3 バーコードリーダーのバッテリー残量を取得する 8

3 通知設定 **8**
3.1 ブザー制御 8
3.2 振動モーター制御 9
3.3 ブザー音の定義 10
3.4 インジケーターライトの定義 10

4 有線モード **11**
4.1 USB 伝送方式 11
4.2 USB キーボードの送信速度 12
4.3 USB HID マルチキー送信設定 13

5 無線モード **13**
5.1 インターフェイス設定の読み取り 13
5.2 無線伝送方式 14
5.3 2.4G ペアリング 14
5.4 受信機の動作モード 14
5.5 2.4G 送信キャッシュ 16

6 Bluetooth モード **17**
6.1 インターフェイス設定の読み取り 17
6.2 Bluetooth 送信方法 17
6.3 Bluetooth 動作モード 17
6.4 Bluetooth 名の変更 18
6.5 Bluetooth HID ペアリングをクリアする 19
6.6 システムキーボードの機能 19
6.7 Bluetooth と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。 20
6.8 Bluetooth キーボードの送信速度 20
6.9 Bluetooth 接続ステータスがスリープ設定にならない 21

7 キーボード設定 **22**
7.1 HID Keyboard General Setting 22
7.2 キーボードの言語設定 29

8 キーボード言語 **29**
8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る 29

9 データ編集 **35**
9.1 標準データ編集設定 35
9.2 拡張データ編集設定 42
9.3 端末文字設定 44

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定 45

10 読取モード **47**
10.1 バーコード読取モード 47

11 RTC クロック設定 **49**
11.1 出力形式 49
11.2 デリミタ 50

12 読取モジュール設定 **51**
12.1 エンジン Code ID 51
12.2 エンジン出力フォーマット 53
12.3 トリガー設定 55
12.4 イメージングパラメータ 62
12.5 バーコード設定 80
12.6 読取モジュール文字表 124
12.7 読取モジュール設定コード 124

13 付録 **127**
13.1 文字検索テーブル 127

1 システム設定

1.1 ファームウェアバージョンの読み取り

ファームウェアバージョンの読み取り

1.2 工場出荷時設定に戻す

> **注釈**
>
> 「カスタム既定値の書き込み」を実行済みの場合、「既定値に戻す」を実行すると、そのカスタム既定値に戻ります。それ以外の場合は、工場出荷時の既定値に戻ります。

> **重要**
>
> 「工場出荷時の既定値を設定」を実行すると、すべてのカスタム既定値が消去され、工場出荷時の既定値に戻ります。

カスタム既定設定に戻す

カスタムの既定値を書き込む

工場出荷時の既定値を設定

1.3 動作モード

注釈

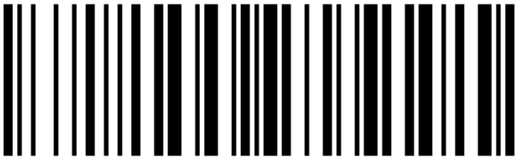
データのアップロードプロセス中に、「データアップロード」コマンドを再度スキャンすると、現在のアップロードはキャンセルまたは停止されます。

注釈

無線送信モードで自動保存を有効にすると、送信に失敗したバーコードが自動的に保存され、保存されたデータは「データアップロード」で読み込むことができます。

* 通常モード

保存モード



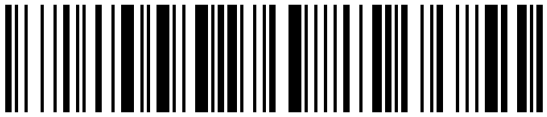
保存データをアップロード

保存済みバーコードの総数を読み取る

アップロード後に保存データを消去

ストレージ使用量を読み取る

保存済みバーコードを消去



* 自動保存モードを無効にする

自動保存モードを有効にする

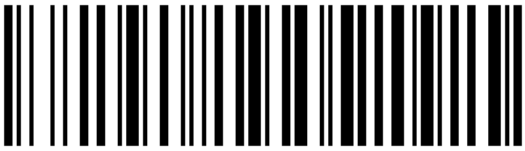
2 電源管理

2.1 スリープ時間を読み取る

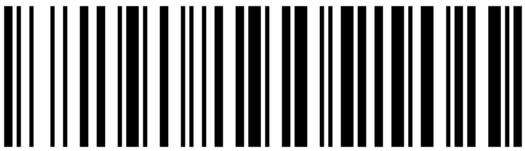
スリープ時間を読み取る

2.2 スリープ時間を設定する

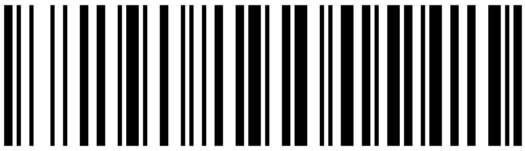
今すぐ冬眠します



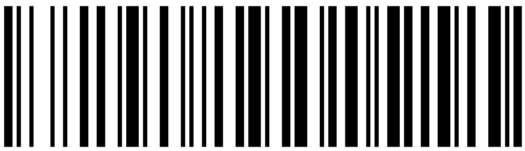
1 分後に寝る



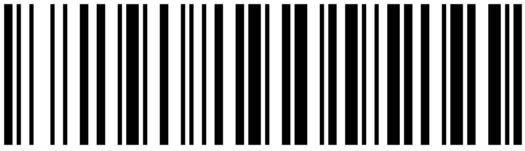
3 分後にスリープ (既定)



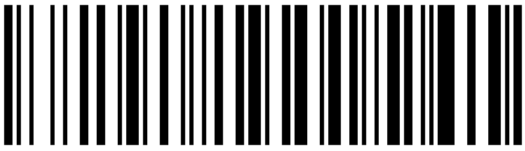
5 分後に寝る



10 分後に寝る

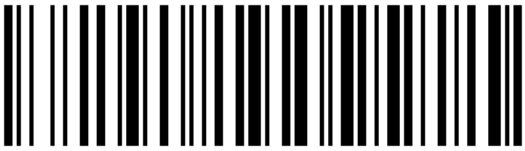


30 分後に寝る



1 時間後に寝る

2 時間後に寝る



決して眠らないでください

2.3 バーコードリーダーのバッテリー残量を取得する

バッテリー残量を取得する

3 通知設定

3.1 ブザー制御

ミュート

* 大音量

中程度の音量

小さい音量

* 高音

低音

* SDK 音声応答が無効になっています

SDK 音声応答の有効化

ベース接続ブザー通知の有効/無効

3.2 振動モーター制御

> **注釈**
>
> 振動モーターはビープ音とともに動作しますが、すべてのモデルがこの機能をサポートしているわけではありません。

無効にする

有効にする

3.3 ブザー音の定義

タイプ	音	意味	試聴
ビープ	ワントーン（ツートーン）	ストレージモードの読み取り。シャットダウンプロンプト。	**ストレージモードでの読み取り** storage-mode.m4a **電源オフ** shutdown.m4a
ビープ	1 音（3 音）	電源投入時のプロンプト。設定は成功しました。アップロードモード転送完了プロンプト。	**電源オン** startup.m4a **設定成功** wireless-setting.m4a
ビープ	短い音（同じ音）	バーコード読み取り成功プロンプト。	**バーコード読み取り成功** one-beeps.m4a
ビープ	30 秒間の連続した短いトーン	2.4G ペアリングモードは、レシーバーが挿入されるのを待ちます。ペアリングが成功すると停止します。	**2.4G ペアリング** pair2.4G.m4a
アラーム音	2 トーン（同トーン）	読み取り中の電力不足アラーム。	**バッテリー残量低下** two-beeps.m4a
アラーム音	3 音（同音）	インベントリモードストレージエラーまたはストレージ容量超過アラーム。	**ストレージエラーまたは容量超過** three-beeps.m4a
アラーム音	送信失敗音	バーコードの送信が失敗した場合にアラームを鳴らします。	まだ音声がありません
アラーム音	5 音（同音）	バッテリー残量が少ないと起動障害が発生します。	**バッテリー残量低下による起動失敗** five-beeps.m4a

3.4 インジケーターライトの定義

インジケーターライト	州
赤信号/緑信号	充電中は赤色のライトが点灯し、緑色のライトが消灯します。完全に充電されると、赤色のライトが消え、緑色のライトが点灯します。
ブルーライト	ブザー動作に続き、ブザーが鳴ると点灯、鳴らないと消灯します。Bluetooth モードをサポートするモデルは、Bluetooth 接続ステータスを示すためにも使用されます。

4 有線モード

注釈

有線伝送をサポートするバーコードリーダーにのみ適用されます。

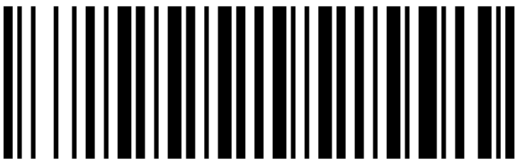
4.1 USB 伝送方式

* USB キーボードモード

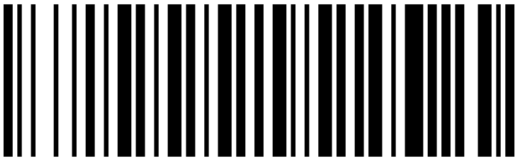
USB 仮想シリアルポートモード

注釈

自動インターフェイス選択を有効にすると、デバイスは有線と無線の間で自動的に切り替わります。USB ケーブルが接続されている場合、有線モードが最初に使用されます。USB ケーブルが接続されていない場合、または USB が利用できない場合、バーコードリーダーは 2.4G モードで動作します。一部のモデルではこの機能をサポートしていない場合があります。



* 有線/無線自動選択が有効です

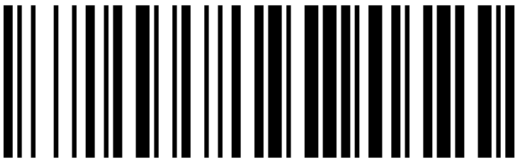


有線/無線自動選択無効

4.2 USB キーボードの送信速度

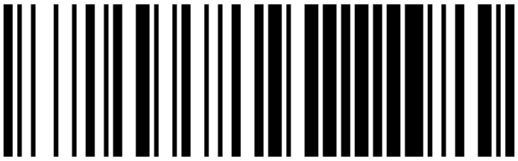
注釈

この設定は、RF、超長いバーコードの Bluetooth 送信、およびストレージデータのアップロードの速度にも影響します。

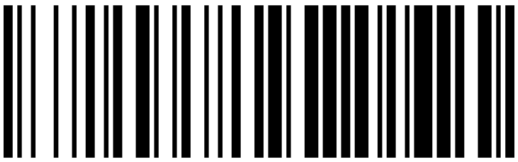


* 最高速度

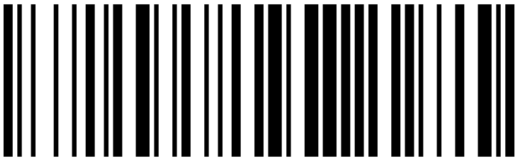
トップスピード



中速



中速



キーボードの読み取り速度

キーボードの読み取り速度

4.3 USB HID マルチキー送信設定

> **注釈**
>
> このセクションの設定は、Windows システムにのみ適用されます。

USB HID マルチキー送信有効

* USB HID マルチキー送信は無効です

5 無線モード

> **注釈**
>
> 2.4G 送信をサポートするバーコードリーダーにのみ適用されます。

5.1 インターフェイス設定の読み取り

現在のインターフェース設定

5.2 無線伝送方式

注釈

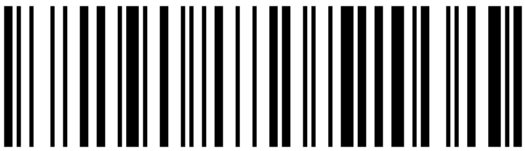
青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが Bluetooth であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。

2.4G 送信モード

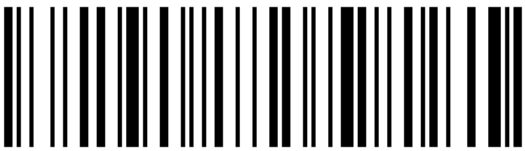
5.3 2.4G ペアリング

重要

ワイヤレス 2.4G モードでのみ有効です。



1 対 1 のペアリング

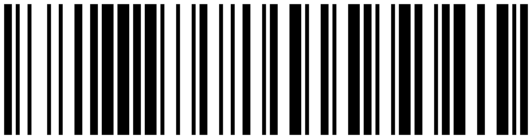


1 対多ペアリング

5.4 受信機の動作モード

注釈

コンポジットデバイスモードは、FWVerL 以降の受信機でのみ使用できます。`ReceiverAddress.exe` を使用してペアリングバーコードを生成し、それをスキャンしてペアリングを完了することもできます。



複合デバイスとしての受信機

仮想シリアルポートとしてのレシーバー

注釈

このモードでは、仮想シリアルポートドライバーをインストールする必要があります。

キーボードとしての受信機

受信機キーボードの通信速度

注釈

このセクションの手順は、FWVerL 以降の受信機にのみ適用されます。バーコードリーダーと受信機の送信速度が一致している必要があります。一致しないと、長いバーコードを送信するときにエラーが発生する可能性があります。

重要

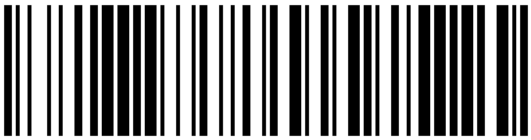
このコマンドはワイヤレス 2.4G モードでのみ有効で、受信機は正常に接続されています。

キーボードの読み取り速度

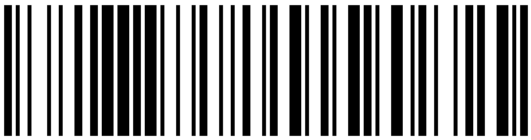
例

KB SP=2,4 は、USB のキーボード速度が 2ms、受信機のキーボード速度が 4ms であることを意味します。

レシーバーキーボード高速



レシーバーキーボード中速



レシーバーキーボード低速

注釈

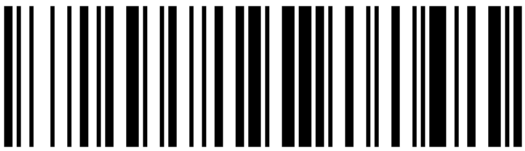
無線 2.4G モードでのみ有効で、受信側は正常に受信します。

5.5 2.4G 送信キャッシュ

注釈

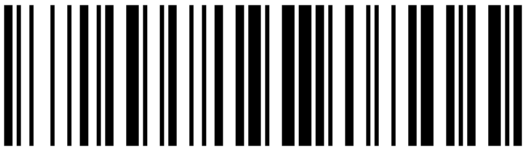
このコマンドは、この機能をサポートする一部のバーコードリーダーにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

通常のバーコードをスキャンする場合、バーコードのデータ量が多くスキャン間隔が短く、データのアップロードが間に合わない場合に、この設定コードを使用してデータのキャッシュを有効または無効にすることができます。



SRAM キャッシュの有効/無効

通常モードでは、データキャッシュを有効にした後、デバイスが一時的に通信距離を離れてオフライン状態になった場合、この設定を使用して、キャッシュされたデータをアップロードする前に接続を待つか、キャッシュされたデータをクリアするかを選択できます。



オフラインキャッシュの有効/無効

6 Bluetooth モード

注釈

Bluetooth 機能を備えた RF+BT バーコードリーダーにのみ適用されます。

6.1 インターフェイス設定の読み取り

現在のインターフェース設定

6.2 Bluetooth 送信方法

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが Bluetooth であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。

Bluetooth 送信

6.3 Bluetooth 動作モード

注釈

Bluetooth モードでのみ有効です。

注釈

Bluetooth 動作モードを切り替える前に、ホストとバーコードリーダーの両端のペアリング情報をクリアする必要があります。

Bluetooth HID キーボード (既定)

Bluetooth SPP シリアルポート

Bluetooth BLE シリアルポート

Bluetooth 基本送信モード

注釈

すでにペアリングされている Bluetooth ベースとのペアリングに適しています。ベースのバーコードが破損している場合は、小さなツール BluetoothAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成することもできます。

6.4 Bluetooth 名の変更

新しい Bluetooth 名を入力したら、生成された QR コードをスキャンして設定を完了します。ホストが変更後に古いペアリング記録を保存している場合は、まず古いペアリングを削除して、接続を再度検索してください。

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

```
AT+NAME=<bluetooth-name>
```

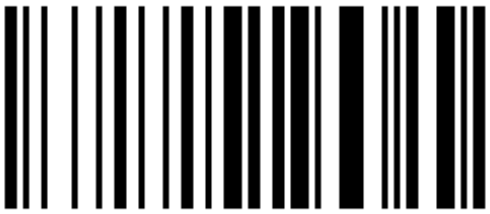
6.5 Bluetooth HID ペアリングをクリアする

Bluetooth 送信モードで「ペアリングのクリア」をスキャンした後、バーコードリーダーは現在ペアリングされているデバイスを切断し、ペアリングリストをクリアしてから、新しいデバイスのペアリングを待ちます。過去にペアリングしたデバイスを削除し、再度ペアリングする必要があります。

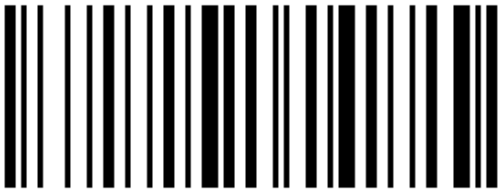
Bluetooth ペアリングをクリアする

6.6 システムキーボードの機能

iOS システムのポップアップキーボード機能



iOS キーボードのポップアップ/非表示



トリガーボタンを 4 秒間長押しすると、iOS キーボードスイッチがポップアップします。

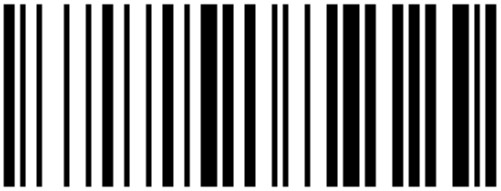
トリガーボタンをダブルクリックして、iOS キーボードスイッチをポップアップ表示します。

送信後に iOS キーボードスイッチをポップアップ表示する

Windows Caps Lock の検出

注釈

このコマンドは、一部の Bluetooth バーコードリーダーにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

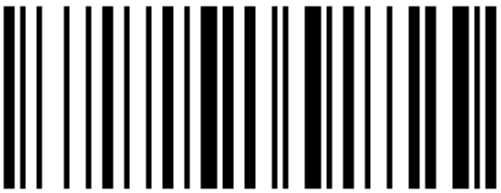


Windows Caps Lock 検出の有効/無効

6.7 Bluetooth と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。

注釈

このコマンドは一部の RF+BT バーコードリーダー (DS、C、RT) にのみ適用されます。有効にした後、トリガーボタンを 8 秒以上押し続け、放すと RF/BT が切り替わります。16 秒以上押し続けると、バーコードリーダーがシャットダウンし、モードは切り替わりません。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



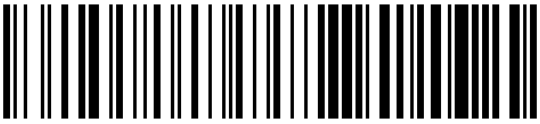
トリガーボタンを 8 秒間押し続けると、RF/BT スイッチが切り替わります。

6.8 Bluetooth キーボードの送信速度

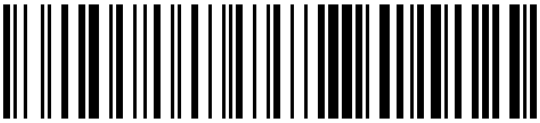
注釈

Bluetooth モードでのみ有効です。

Bluetooth HID 遅延の読み取り



高速（2ms）



高速（6ms）

* 中速 (10 ミリ秒)

中速（18ms）

低速 (25ms)

低速 (30ms)

6.9 Bluetooth 接続ステータスがスリープ設定にならない

注釈

設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

Bluetooth 接続ステータス非スリープの有効/無効

7 キーボード設定

7.1 HID Keyboard General Setting

HID 共通設定

> **注釈**
>
> 本項の HID 共通設定は、USB キーボード、RF 2.4G キーボード、および Bluetooth HID キーボードの各モードに適用されます。

Ctrl キーの組み合わせの設定

* 結合キーオフ

Ctrl+ Key Config1

Alt+ Key Config2

Normal-Key Config3

Ctrl+ Key Config4

Alt+ Key Config5

> **注釈**
>
> only for ASCII <0x20 chars, Alt+ key only for Windows system.

ケースの設定

普通

スワップケース

すべて大文字

すべて小文字

キーボード言語を ALT または TH に設定している場合、大文字/小文字変換は適用されません。

Num Lock の設定

Num Lock が無効になりました

Num Lock が有効になりました

※ 受信端末が携帯電話の場合、Num Lock の設定をオフにしておかないと番号が表示されません。

文字セット設定を入力します

注釈

この設定は、特定のモジュールの 2D バーコードリーダーにのみ適用され、2D モジュールの出力文字セットと一致します。

現在の文字セット設定を読み取る

自動

GBK / BIG5 / HANGUL / SJIS

ISO/IEC 8859

UTF8（ワード）

UTF8 (送信)

ノーマルモード

例証します:

モデル	該当するシナリオ	読取モジュールの出力文字セット	限界
Auto	入力文字セットを UTF8 または ISO/IEC 8859 として自動的に選択します。Word または Txt 出力は、最後の UTF8 設定に基づいています。	プリミティブ型	なし
GBK	Windows のメモ帳、Excel の中国語入力。	GBK (GB2312) またはオリジナルのタイプ	Windows システムのみに適用されます。
UTF8 (Word)	Word、QQ 中国語入力。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
ISO/IEC 8859	ヨーロッパのシングルバイト特殊文字 (>= C0H)。FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK に適しています。	プリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。
UTF8 (Txt)	Windows のメモ帳で特殊文字を入力するには、Unicode プラグインをインストールする必要があります。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
Normal	FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK キーボードの文字に適した多言語特殊文字。	UTF8 またはプリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。

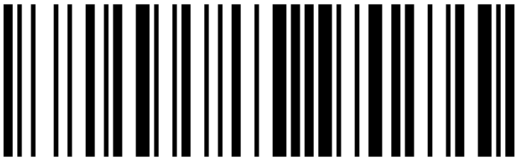
受信デバイスの選択

注釈

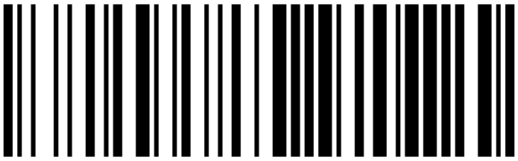
本項では、ホストデバイスごとに ASCII 文字（0x20～0x7F）を入力する方法を設定します。キーボードレイアウト設定と組み合わせて使用してください。

現在の受信デバイス設定を読み取る

Windows デバイス



iPhone/iPad/Mac デバイス



Android デバイス

*IOS/MAC デバイスは現在有効です: FR、DE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK。ドキュメント「バーコードスキャナー用の MAC iPhone iPad キーボードレイアウト.docx」を参照してください。

※Android 端末には Google Gboard 入力方式を一律にインストールすることを推奨します。「バーコードスキャナー用 Android デバイスのキーボードレイアウト.docx」ドキュメントを参照してください。

7.2 キーボードの言語設定

> **参考**
>
> キーボード言語設定は独立したページに分割されています: キーボード言語設定。

8 キーボード言語

8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る

現在のキーボードレイアウトを読み取る

L1 *ENUSA アメリカ EN キー

* 米国英語キーボード

L2 FR フランスフランス語キー

フランス語フランス語キーボード

L3 DE ドイツドイツキー

ドイツ語ドイツ語キーボード

L4 ITitaly イタリアキー

イタリア語キーボード

L5 PT ポルトガルキー

ポルトガル語キーボード

L6 ES スペインスペインキー

スペイン語キーボード

L7 TR トゥルキエトルコキー

トルコ語 Q キーボード

トルコ語 F キーボード

L8 ENUK 英国キー

イギリス英語キーボード

L9 CS チェコ語チェコ語キー

チェコ語キーボード

チェコ語の標準キーボード

L10 HU ハンガリーハンガリーキー

ハンガリー語キーボード

L11 FR ベルギー (フランス語) ベルギー FR キー

ベルギーフランス語キーボード

L12 PT ブラジル (ポルトガル語) ブラジル PT キー

ブラジル系ポルトガル語キーボード

L13 FR カナダ語フランス語 (繁体字) カナダ語 FR キー

カナダフランス語 (繁体字) キーボード

L14 HR クロアチアキー

クロアチア語キーボード

L15 SK スロバキアスロバキアキー

スロバキア語 QWERTY キーボード

スロバキア語キーボード

L16 DA デンマークデンマークキー

デンマーク語キーボード

L17 FIFINLAND キー

フィンランド語キーボード

L18 ES ラテンアメリカ (スペイン語) ラテンアメリカ ES キー

ラテンアメリカスペイン語キーボード

L19 NL オランダオランダキー

オランダ語キーボード

L20 ノルウェーノルウェーキー

ノルウェー語キーボード

L21 PL ポーランドポーランドキー

ポーランド語キーボード

L22 SR セルビア (ラテン) セルビアキー

セルビア語ラテン語キーボード

L23 SL スロベニアキー

スロベニア語キーボード

L24 SVSweden スウェーデンキー

スウェーデン語キーボード

L25 DE スイス (ドイツ語) スイス DE キー

スイスドイツ語キーボード

L26 JP 日本语日本語キー

日本語キーボード

L27 TH タイタイキー

> **注釈**
>
> タイ語キーボードを使用する場合、読取モジュールも TH 出力に設定する必要があります。

タイ語キーボード

参考

参照ファイル: RF2.4G、蓝牙设置 _ 中文、泰语、韩语.docx。

L28 ALT インターナショナルキーボード ALT グローバルキー

注釈

ALT インターナショナルキーボードは Windows システムにのみ適用され、ホストのキーボード設定の影響を受けませんが、転送速度が低下します。

ALT インターナショナルキーボード

L29 ALT シングルバイト特殊キーボード ALT シングルバイト特殊キー

ALT 半角特殊文字キーボード

注釈

このセクションに記載されていない言語をサポートするにはカスタマイズする必要があります。

9 データ編集

9.1 標準データ編集設定

このセクションでは、設定コードを使用して、プレフィックス、サフィックス、非表示文字などの一般的な出力ルールを設定する方法を説明します。

プレフィックス、サフィックス、隠し文字の設定

最大 10 個のプレフィックスまたは 10 個のサフィックスを出力データに追加できます。設定する場合は、ASCII 値に対応する 2 桁の 16 進数の設定コード (つまり 2 つのバーコード) をスキャンしてください。

参考

文字値については、ASCII ファンクションキー文字比較表 およびASCII 文字比較表 を参照してください。値の入力が必要なパラメータについては、数字設定コード をスキャンしてください。具体的な手順については、「プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ」を参照してください。

バーコードの最初、中間、または最後の文字を非表示にするように設定できます。対応する非表示設定コードをスキャンした後、非表示にする文字の長さに対応する 2 桁の 16 進数の設定コードをスキャンします (00 ～FF、たとえば 4 文字を非表示にする場合は、0、4 を順にスキャンします)。

参考

文字を非表示にするプロセスについては、バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順 を参照してください。

オペコード

プレフィックスを追加する

接尾語を追加

すべてのプレフィックスをクリアする

すべてのサフィックスをクリア

最初のバーコードの文字数を非表示にする

バーコード中央の開始桁を非表示にします

バーコードの途中の文字数を非表示にする

バーコードの末尾の文字数を非表示にする

数字設定コード

指定値が必要なパラメータについては、対応する数字設定コードをスキャンしてください。

数字設定コード 0

数字設定コード 1

数字設定コード 2

数字設定コード 3

数字設定コード 4

数字設定コード 5

数字設定コード 6

数字設定コード 7

数字設定コード 8

数字設定コード 9

数字設定コード A

数字設定コード B

数字設定コード C

数字設定コード D

数字設定コード E

数字設定コード F

出力形式の設定

出力データ形式を変更する必要がある場合は、以下の対応する設定コードをスキャンしてください。

既定の出力形式

出力サフィックスを許可する

出力プレフィックスを許可する

バーコードヘッダーコンテンツを非表示にすることができます

バーコードの中央のコンテンツを非表示にすることができます

バーコード末尾のコンテンツを非表示にすることができます

手順例

プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ

1. プレフィックスとサフィックスの出力が有効になっていない場合は、まず対応する出力フォーマットコードをスキャンしてください。
2. 新しい文字は、既存のプレフィックスまたはサフィックスの後に追加されます。既存のプレフィックス/サフィックスを破棄する場合は、先に「すべてのプレフィックス/サフィックスを消去」設定コードを読み取り、その後で設定し直してください。
3. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」設定コードをスキャンします。
4. ASCII ファンクションキー文字比較表 またはASCII 文字比較表 に基づいて、入力するプレフィックスまたはサフィックスに対応する 16 進値を決定します。
5. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
6. 文字を追加し続ける場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。

例

プレフィックスとして `Ctrl+A` を追加する必要がある場合は、「プレフィックスの追加」「9」「7」「4」「1」を順にスキャンします。

例

`Ctrl+Alt+A` をサフィックスとして追加する必要がある場合は、「サフィックスの追加」「9」「7」「9」「9」「4」「1」を順にスキャンします。

バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順

1. バーコードのヘッダー、中間の開始ビット、中間の長さ、または末尾の文字を非表示にする設定コードをスキャンします。
2. 非表示にする文字の長さに対応する 16 進値を決定します (たとえば、4 文字を非表示にする場合は、`0`、`4` をスキャンします。12 文字を非表示にする場合は、`0`、`C` をスキャンします)。

3. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
4. 出力書式設定コードを通じて隠し文字機能を有効または無効にします。

9.2 拡張データ編集設定

このセクションでは、完全なコマンドからデータ編集設定コードを一度に生成できます。一括設定、リモートでのシリアルコマンド送信、または文字置換が必要な場合に適しています。

ワンコード設定オンライン生成ツール

> **注釈**
>
> オンライン生成ツールは HTML マニュアルでのみ表示されます。設定コードを生成した後、生成されたバーコードを直接スキャンして設定を完了できます。また、下記のコマンド形式でシリアルコマンドとして送信することもできます。

プレフィックスを追加する

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

```
$DATA#20<length-hex><content>#
```

接尾語を追加

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

```
$DATA#10<length-hex><content>#
```

バーコード先頭文字を非表示

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

```
$DATA#50<length-hex>#
```

バーコード中央文字を非表示

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

```
$DATA#40<position-hex><length-hex>#
```

バーコード末尾文字を非表示

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

```
$DATA#30<length-hex>#
```

文字置換

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

$DATA#70<source-length-hex><source><target-length-hex><target>#

ワンコード設定コマンド形式

編集形式:

```
$DATA#ncllxx#
```

n

1 サフィックス。2 プレフィックス。3 は、バーコードの末尾の内容を非表示にします。4 は、バーコードの中央のコンテンツを非表示にします。5 は、バーコードの最初のコンテンツを非表示にします。7 は文字を置き換えます。

c

Code ID は、現在、すべてのシンボル体系を示す 0 のみをサポートしています。

ll

長さ、16 進値: 接頭辞と接尾辞 01~0A、01~FF を非表示、01~05 を置き換えます。

xx

ASCII 値。16 進数は、\x に 2 文字を加えたもので表現でき、文字の範囲は 0~9、A~F です。

表 1: ワンコード設定例

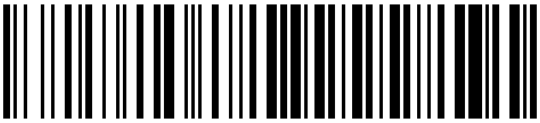
注文	意味
$DATA#1005abcd\x03#	0x05 サフィックスを追加します: abcd + 0x03。
$DATA#200ANETUM12345#	0x0A プレフィックス NETUM12345 を追加します。
$DATA#3008#	バーコードの末尾にある 0x08 文字を非表示にします。
$DATA#40050A#	バーコード内の 0x05 文字の後の 0x0A 文字を非表示にします。
$DATA#5011#	バーコードヘッダー 0x11 バイトを非表示にします。
$DATA#7001\x1D02GS#	GS (0x1D) 文字を GS に置き換えます。
$DATA#7002NT01Z#	NT を Z に置き換えます。

文字置換操作

形式: $DATA#70 + 置換対象文字列の長さ + 置換対象文字列 + 置換後データの長さ + 置換後データ #

置換される文字と置換される文字の長さの合計は 6 以下で、1 ～6 文字が 5 ～0 文字に置換されることがサポートされます。

置換設定の読み取り



置換設定をクリアする

例

$DATA#7001\x1D02GS# は、表示不可能な文字 GS (0x1D) を GS に置き換えて表示することを意味します。

文字置換操作: GS からテキスト GS へ

例

$DATA#7001\x0A01\x0D# は、LF (0x0A) を CR (0x0D) に置き換えることを意味します。

文字置換操作: LF から CR

例

$DATA#7006ABCDEF00# は、文字列 ABCDEF を何も置き換えない、つまり表示しないことを意味します。

9.3 端末文字設定

注釈

この終端文字は、デコードモジュールのサフィックスやワイヤレスサフィックスから独立しているため、デコードモジュールにサフィックスがない場合でも、迅速な設定が容易になります。

なし (既定)

CR を入力してください

タブ文字 TAB

キャリッジリターンとラインフィード CRLF

改行 LF

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定

注釈

一部の AI フィールドのみが適用され、特別なバージョンのサポートが必要です。

生の形式 (既定)

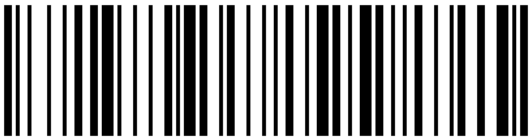
括弧を追加する

括弧を追加し、CR で区切ります。

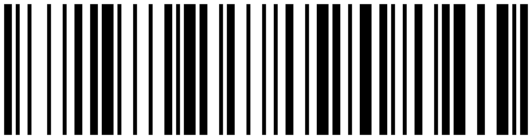
括弧を追加し、TAB で区切ります

10 読取モード

10.1 バーコード読取モード



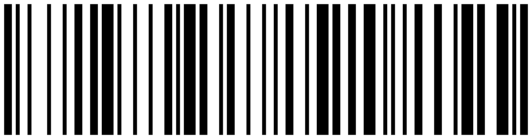
キースキャンモード（既定）



連続スキャンモード

注釈

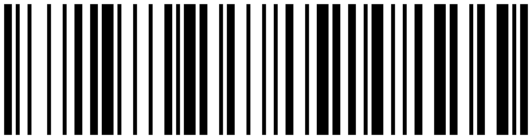
連続スキャンモードは、宅配便などでバーコードを連続して読み取る用途に適しています。Trigger ボタンを 1 回押すと、読取を開始または停止します。



キーパルススキャンモード

注釈

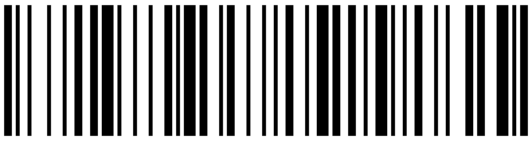
キーレベルの変化を検出すると読み取りを開始し（約 30ms 保持）、再度キーレベルの変化を検出すると読み取りを終了します。読み取りが成功するかタイムアウトになると、読み取りは終了します。



ホストトリガーモード（一部のカスタム機種のみ）

注釈

ホストトリガーモードは、一部のカスタム機種でのみ使用できます。

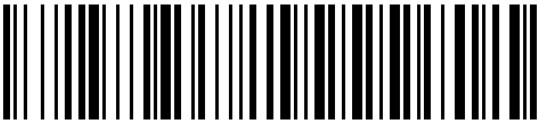


バッチスキャンモード（一部のカスタム機種のみ）

デコードタイムアウト

このパラメータでは、1 回のスキャン試行でデコード処理を継続する最大時間を設定します。4 桁のミリ秒値を入力します。既定値：3000 ms、範囲：0500～9999 ms。

3 秒（既定）



6 秒

インターバル時間

このパラメータでは、連続モードにおける読み取り間隔を設定します。4 桁のミリ秒値を入力します。既定値：0500 ms、範囲：0100～9999 ms。

0.5 秒（既定）

1 秒

11 RTC クロック設定

> **注釈**
>
> RTC をサポートする一部のバーコードリーダーにのみ適用されます。

11.1 出力形式

> **注釈**
>
> 設定コードをスキャンすることでタイムスタンプを修正できます。電子マニュアルの RTC 修正機能にはすでにタイムゾーンが含まれており、クエリは現地時間です。時刻は、Bluetooth SDK を通じて同期することもできます。

例

タイムスタンプ補正コマンドの形式例: `%RTCTIME#21/12/24,01:58:06+32`。

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

`%RTCTIME#YY/MM/DD,hh:mm:ss<quarter-hour-timezone>#`

タイムスタンプを無効にする

タイムスタンプ (サフィックス) を有効にする

タイムスタンプ (プレフィックス) を有効にする

11.2 デリミタ

既定では、バーコードと時刻は Tab で区切られます。変更する必要がある場合は、次のコマンドを編集して設定コードを生成できます。

```
%RTCSTAMP#Sx
```

x

ASCII 値。16 進数は、\x に 2 文字を加えたもので表現でき、文字の範囲は `0~9`、`A~F` です。

Tab 区切り (既定)

RS 分離

セミコロン区切り

12 読取モジュール設定

12.1 エンジン Code ID

デコードデータ形式

デコードデータ形式

デバイスは、次の SSI / SNAPI 関連データパケットのパススルー形式に対応しています。

デバイスは、ユーザー定義のパラメータバーコードを通常のデコードデータとしてホストに透過的に送信できます。

- ユーザー定義パラメータのバーコード形式:

```
<FNC3><L><data>
或
<FNC3><B><12 bytes of data>
```

- デコードされたデータ形式:

```
<0xf3><L><data>
或
<0xf3><B><12 bytes of data>
```

このうち、B タイプは、12 バイトデータのみをサポートします。ユーザー定義パラメータのバーコードを正常に読み取ると、デバイスは通常のデコードビープ音を鳴らします。

AIM コード識別子

出力データに AIM Code ID または Extended Code ID が含まれるかどうかを制御するために使用されます。

オプション:

- None、既定値
- AIM Code ID Character
- Extended Code ID Character

* Code ID を出力しません

出力 AIM Code ID

出力拡張 Code ID

このオプションを有効にすると、「プレフィックス」と「デコードされたデータ」の間に Code ID が挿入されます。

> **注釈**
>
> Transmit "No Read" Message が同時に有効で、AIM Code ID Character または Extended Code ID Character が有効な場合、デバイスは NR メッセージの後に Code 39 のコード ID を追加します。

メッセージを読めません

デコードが失敗した場合に、NR をホストに送信するかどうかを制御するために使用されます。

- Enable No Read
- Disable No Read、既定値

未読メッセージを有効にする

* 未読メッセージを無効にする

AIM Code ID と FN1

AIM Code ID 文字

> **参考**
>
> このセクションでは主に「AIM Code ID を出力するかどうか」の制御ロジックを扱います。端末固有の Code ID 比較表については、「引擎字符表」を参照してください。

FN1 の置き換え

USB HID keyboard host にのみ適用されます。有効にすると、EAN-128 バーコード内の FN1 (0x1b) をユーザー設定値に置換できます。

既定の置換値は 7013 で、これは Enter キーです。

ホストコマンドで設定する場合:

このドキュメントでは、最初に Key Category を 1 に設定し、次に 3 桁のキー値を設定する必要があります。

FN1 置換値テーブル

FN1 置換ターゲット値を設定するために使用されます。

バーコードメニューの設定手順:

1. Set FN1 Substitution Value をスキャン
2. 現在のホストインターフェイスに対応する ASCII 文字テーブルでターゲットボタンを見つけます。
3. 4 桁の ASCII 値をスキャンします。

FN1 置換値を設定します

間違えた場合は、Cancel をスキャンして再入力できます。

12.2 エンジン出力フォーマット

終端文字の設定

PL5 には「終端文字の設定」という独立した章がありません。ワイヤレスカスタマイズバージョンは、サフィックスプロセスに従って最小構成を保持します。最初に Scan Suffix 1 または Scan Suffix 2 を設定し、次に Prefix/Suffix Values を書き込み、最後にサフィックスを含む Scan Data Transmission Format を選択します。

一般的な終端文字値:

- 1013: CR / 入力します。
- 7013: Enter。端末または FN1 置換値シナリオで一般的に使用されます。

推奨されるプロセス:

1. Scan Suffix 1 または Scan Suffix 2 をスキャンします。

2. 数字設定コードを使用して、1013 または 7013 を入力します。
3. <DATA> <SUFFIX 1>、<DATA> <SUFFIX 2>、または <DATA> <SUFFIX 1> <SUFFIX 2> をスキャンします。
4. サフィックス出力をキャンセルするには、Data As Is をスキャンします。

スキャンサフィックス 1

スキャンサフィックス 2

* 現状のままのデータ

<DATA> <SUFFIX 1>

<DATA> <SUFFIX 2>

<DATA> <SUFFIX 1> <SUFFIX 2>

<PREFIX> <DATA> <SUFFIX 1>

<PREFIX> <DATA> <SUFFIX 2>

<PREFIX> <DATA> <SUFFIX 1> <SUFFIX 2>

12.3 トリガー設定

トリガーモード

トリガーモード選択/Trigger Mode

デバイスがデコードを開始するトリガー方式を選択します。使用可能なオプションは次のとおりです。

- Level トリガーイベントの開始後、トリガーが終了するか、デコードが成功するか、または「デコードセッションタイムアウト」に達するまで、デコードプロセスに入ります。
- Presentation Mode デバイスが視野内にターゲットを検出すると、自動的にトリガーされ、デコードが試行されます。このモードはデコードモードでのみ使用でき、ターゲット検出範囲は通常の照明条件下で固定されます。このモードでは、デバイスは低電力モードに入りません。
- Host は、ホストコマンドによって送信されるトリガー信号です。実際の物理トリガーは依然として Level 方法で解釈されます。
- Auto Aim は、動きが検出されると照準パターンをオンにし、トリガーを引いた後にデコードを開始します。2 秒間操作がない場合、照準パターンは自動的にオフになります。
- Auto Aim with Illumination が動きを検出すると、照準パターンと内部照明 LED が同時にオンになります。トリガーを引いた後にデコードが開始されます。2 秒間アクティビティがない場合、照準パターンと照明 LED は自動的にオフになります。

Level

Presentation Mode

Host

Auto Aim

Auto Aim with Illumination

継続的なコード読み取りとタイムアウト

連続コード読み取り

デバイスがトリガー後にバーコードの読み取りを試行し続けるかどうかを制御するために使用されます。

- `Disable`、既定値
- `Enable`

* 連続コード読み取りを無効にする

連続コード読み取りを有効にする

独自のバーコードレポート

連続コード読み取り中に繰り返されるコンテンツのレポート戦略を制御するために使用されます。

- Disable、既定値
- Enable

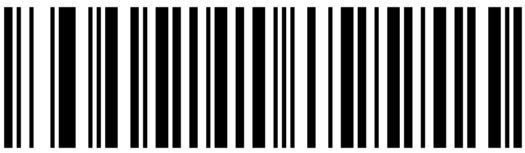
* 固有のバーコードレポートを無効にする

固有のバーコードレポートを有効にする

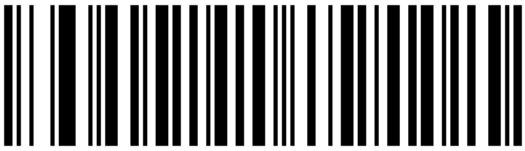
低照度のモーション検出

暗い環境で動き検出戦略を調整するために使用されます。

- No Low Light Motion Detection、既定値
- Low Light Motion Detection 1
- Low Light Motion Detection 2



* 低照度の動き検出を無効にする



低照度動作検出レベル 1

低照度動作検出レベル 2

デモモードビュー

自動検知モードでバーコードを検索する領域の大きさを設定します。使用可能なオプションは次のとおりです。

狭視野

* 中視野

全視野

PDF 優先タイムアウト

PDF Prioritization が有効になった後、視野内の 1D バーコードを報告する前に、デバイスが最初に PDF417 の読み取りを試行するまでの待ち時間を設定するために使用されます。

- 値の範囲: 0 ～5000 ms
- 既定値: 200 ms
- 設定方法: 最初に以下の設定コードをスキャンし、次に 4 桁のバーコードをスキャンしてミリ秒値を入力します

たとえば、400 ms に設定されている場合、設定コードをスキャンして、0400 を入力する必要があります。

PDF 優先タイムアウトを設定する

同一符号繰り返し復号間隔

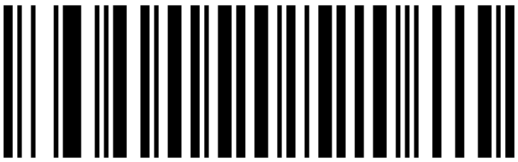
同じバーコードが短時間に繰り返し出力されるのを防ぎます。パラメータ既定値表では、既定値は 0.6 秒です。設定コードを読み取った後、数字設定コードで必要な間隔を入力します。

同一コード繰り返しデコード間隔を設定する

異なるコードの繰り返しデコード間隔

異なるバーコードを連続して読み取る場合の最小間隔を制限するために使用されます。既定のパラメータ表によると、既定値は 0.2 秒です。

- 値の範囲: 0.1 ～9.9 秒
- 入力方法: 下記の設定コードを読み取った後、2 桁のバーコードを読み取ってください



異なるコードの繰り返しデコード間隔を設定する

低消費電力と停止条件

低電力遅延

このパラメータでは、デコード完了後にデバイスがアクティブ状態を維持する時間を設定します。1 回のスキャンセッションが終了すると、デバイスは設定時間だけ待機してから低消費電力モードに移行します。

> **注釈**
>
> 元の説明: このパラメータは、Power Mode が低消費電力モードに設定されている場合にのみ有効です。

低消費電力遅延値テーブル

使用可能な値は次のとおりです。

- 1 Second
- 5 Seconds
- 1 Minute
- 5 Minutes
- 15 Minutes
- 1 Hour

1 秒

5 秒

1 分

5 分

15 分

1 時間

上記以外の値に設定する必要がある場合、原文では SSI インターフェイスの「SSI で低電力モードへの時間遅延を使用する」メソッドを介してプログラミングする必要があります。

低電力モードの有効/無効

ソースページ: ページ 102 Power Mode (Serial Hosts Only)

- Continuous On は、デコード試行後に低電力状態になりません。
- Low Power Mode「低電力遅延」パラメータを押して、デコード試行後に低電力モードに入ります。

Continuous On

Low Power Mode

ピックリストモード

ターゲットパターンの中央領域の下にあるバーコードのみをデコードするようにデバイスを制限するために使用されます。

- Disabled Always、既定値
- Enabled Always

* 選択リストを常に無効にする

選択リストを常に有効にする

デコードセッションのタイムアウト

単一のデコード試行の最大期間を 0.5 秒から 9.9 秒の範囲で、0.1 秒単位で設定するために使用されます。

デコードセッションのタイムアウトを設定する

ホストのシリアルポート応答タイムアウト

> **参考**
>
> このパラメータはシリアルポートおよび SSI 通信パラメータに属します。シリアルポートホストモードを直接使用する場合、完全な値と通信手順は、完全な PL5 モジュールマニュアルで確認する必要があります。

ホストキャラクターのタイムアウト

> **参考**
>
> このパラメータはシリアルポートおよび SSI 通信パラメータに属します。シリアルポートホストモードを直接使用する場合、完全な値と通信手順は、完全な PL5 モジュールマニュアルで確認する必要があります。

12.4 イメージングパラメータ

画像とビデオ

イメージャの設定

このセクションは、デコード、画像キャプチャ、ビデオビューファインダー、および画質に関連するイメージャパラメータの一般的なエントリポイントとして機能します。

動作モード

イメージャの動作モード、取得モード、または画像出力モードに関連するパラメータを受け入れるために使用されます。

モバイル画面表示モード

携帯電話の画面や電子画面などの表示メディアに直面した場合の読み取り互換性を向上させるために使用されます。

- `Disable`、既定値
- `Enable`

* 電話画面モードを無効にする

電話画面モードを有効にする

ビデオ解像度

行と列を削除してビデオデータサイズを小さくする代わりに、ビデオ送信前に解像度を下げるために使用されます。

オプション	価値	ビデオサイズ
Full Resolution	00h	752 x 480
1/2 Resolution	01h	376 x 240
1/4 Resolution	03h	188 x 120、既定値

フル解像度

1/2 解像度

* 1/4 解像度

フレームレート

画像取得およびビデオ送信中のフレームレートを制御するために使用されます。多くの場合、フレームレートを低くすると画像が明るくなります。

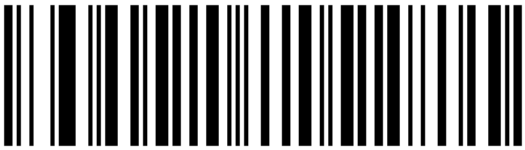
使用可能なオプションは次のとおりです。

- Auto、既定値
- 60 fps
- 55 fps
- 50 fps

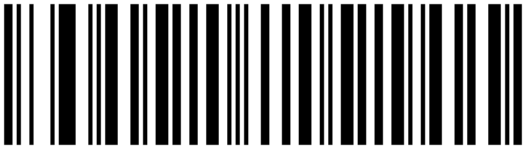
- 45 fps
- 40 fps
- 30 fps
- 20 fps
- 15 fps
- 10 fps

* 自動フレームレート

60 fps



55 fps



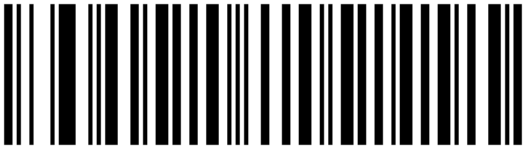
50 fps

45 fps

40 fps

30 fps

20 fps



15 fps

10 fps

注釈

フレームレートが 30 fps 以下の場合、照準パターンがちらつくように見える場合があります。

画像ファイルサイズセレクター

JPEG Size Selector と組み合わせて使用し、3 桁の数値を入力して JPEG ファイルサイズの上限を設定します。

BMP ファイル形式

*JPEG ファイル形式

TIFF ファイル形式

画像ファイルのメタデータ

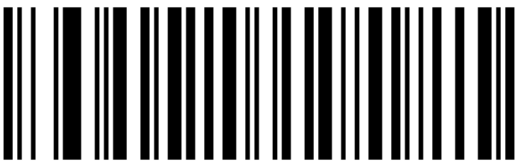
JPEG イメージに EXIF 2.2 メタデータが伴うかどうかを制御するために使用されます。

- Enable Image File Meta Data
- Disable Image File Meta Data、既定値

有効にすると、次のフィールドに書き込むことができます。

- 電源投入後の時間
- センサーの種類
- デバイス名
- メーカー
- フレームレート
- ホストの種類
- 電源投入後の画像番号
- 画像補正パラメータ
- 画像鮮明化パラメータ
- 画像コントラスト強調パラメータ

この設定は、TIFF および BMP 形式には無効です。



画像ファイルのメタデータを有効にする

* 画像ファイルのメタデータを無効にする

ビデオビューファインダー

ライブビデオビューファインダーをイメージモードで表示するかどうかを制御するために使用されます。

- Disable Video View Finder、既定値
- Enable Video View Finder

* ビデオビューファインダーを無効にする

ビデオビューファインダーを有効にする

ビデオビューファインダーの画像サイズ

ビデオビューファインダーの画像サイズを設定するために使用され、入力単位は 100-byte block です。

- 値の範囲: 800 ～12,000 バイト
- 既定値: 1700 バイト

値が小さいほどフレームレートは高くなります。値が大きいほど高画質になります。

ビデオビューファインダーの画像サイズを設定する

ターゲットビデオフレームサイズ

1 秒あたりに送信されるビデオデータブロックサイズを設定するために使用されます。入力単位は 100-byte block です。

- 値の範囲: 800 ～20,000 バイト

- 既定値: 2200 バイト

値が小さいほどフレームレートは高くなります。値が大きいほど高画質になります。

ターゲットビデオフレームサイズを設定する

照明と照準

照明

このセクションでは、デコードおよびキャプチャのシナリオにおける照明制御項目について説明します。

LED 照明

LED 照明の有効化、無効化、または動作方法を設定します。

画像取得照明

スナップショットの撮影時に照明を有効にするかどうかを制御するために使用されます。

- Enable Image Capture Illumination、既定値
- Disable Image Capture Illumination

* 画像取得照明を有効にする

画像取得照明を無効にする

通常、照明を有効にすると画像が向上しますが、ターゲットが遠ざかるほど補助光の効果は低くなります。

照明の明るさ

LED 電力を調整して照明の明るさを設定するために使用されます。

- 値の範囲: 1 〜10
- 既定値: 10

- 設定方法: 最初に以下の設定コードをスキャンし、次に 2 桁のバーコードをスキャンして明るさの値を入力します

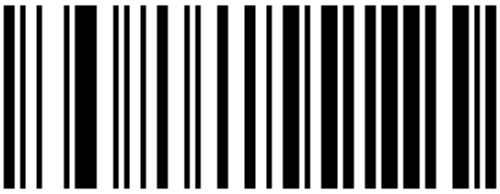
たとえば、明るさを 6 に設定する場合、最初に「照明の明るさ」設定コードをスキャンし、次に 0 と 6 を入力する必要があります。

照明の明るさを設定する

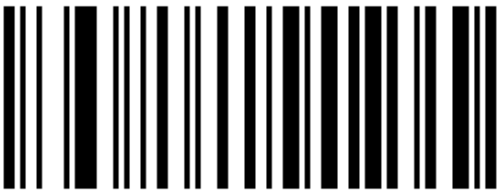
明るさを目指す

照準パターンの輝度を設定します。既定値は 0 で、2 回の露光の間も照準パターンが点灯し続けます。値が 0 より大きい場合、値を 1 増やすごとに照準時間が 0.5 ms 長くなります。

- 値の範囲: 0 ～255
- 推奨範囲: フレームレートが 60 fps の場合、0～30 の使用を推奨します
- 設定方法: まず対応する設定コードをスキャンし、次に 3 桁のバーコードを入力します



スナップショットモード



ビデオモード

照準の明るさを設定する

照準パターンをデコードする

デコード中に照準パターンを投影するかどうかを制御するために使用されます。

- Enable Decode Aiming Pattern、既定値

- Disable Decode Aiming Pattern

照準パターンのデコードを無効にする

* 照準パターンのデコードを有効にする

> **注釈**
>
> ピックリストモードが有効な場合、照準パターンの読み取りがオフになっていても照準パターンは点滅します。

スナップショット照準パターン

スナップショットモードで照準パターンを表示するかどうかを制御するために使用されます。

- Enable Snapshot Aiming Pattern、既定値
- Disable Snapshot Aiming Pattern

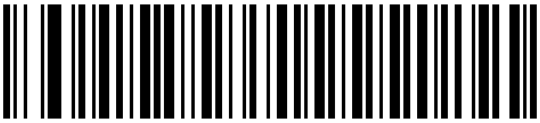
* スナップショット照準パターンを有効にする

スナップショット照準パターンを無効にする

スナップショットモードのタイムアウト

デバイスがスナップショットモードに留まる時間を設定するために使用されます。タイムアウトまたはトリガーイベントの後、デバイスはスナップショットモードを終了します。

- 既定値 0 は、30 秒を意味します
- その後 1 が増加するたびに、時間は 30 秒ずつ増加します。



スナップショットモードのタイムアウトを設定する

露出と明るさ

自動露出

デコードモードで自動露出と自動ゲインを有効にするかどうかを制御するために使用されます。

- Enable Decoding Autoexposure、既定値
- Disable Decoding Autoexposure

* デコード自動露出を有効にする

デコード自動露出を無効にする

オフにすると、ゲインと露光時間を手動で設定する必要があります。公式には、複雑な読書シナリオで上級ユーザーによる使用のみが推奨されています。

> **注釈**
>
> Presentation Mode でこのパラメーターを切り替えることはお勧めできません。

画像取得自動露出

スナップショットキャプチャモードで自動露出と自動ゲインを有効にするかどうかを制御するために使用されます。

- Enable Image Capture Autoexposure、既定値
- Disable Image Capture Autoexposure

* 画像取得の自動露出を有効にする

画像取得時の自動露出を無効にする

固定ゲイン

デコードまたは画像取得の自動露出がオフになった後、元の画像データを手動で拡大するために使用されます。ゲインを増加すると、明るさとコントラストが増加し、画像ノイズも増加する可能性があります。

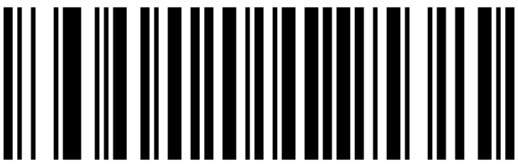
- 既定値: 50
- 値の範囲: 1 〜100
- 入力方法: 下記の設定コードを読み取った後、3 桁のバーコードを読み取ってください

固定ゲインを設定する

曝露時間

自動露出をオフにした後、露出時間を手動で指定するために使用します。既定値は 100、つまり 10 ms です。このパラメータは、自動露出オフシーンでの使用により適しています。

- 各整数値は 100 us を表します
- 既定値: 100
- 値の範囲: 1 〜1000
- 入力方法: 下記の設定コードを読み取った後、4 桁のバーコードを読み取ってください



露出時間を設定する

画像の明るさの目標白色値

スナップショットモードおよびビデオモードで自動露出アルゴリズムによって使用されるターゲットの白色値を設定するために使用されます。

- 既定値: 180
- 入力方法: Image Brightness をスキャンし、3 桁の数字を入力します。

このドキュメントでは、白を 10 進数の 240 として定義し、黒を 10 進数の 1 として定義しています。既定値 180 は、画像を約 180 の白ビットにします。

ビット深度

画像をキャプチャするときの 1 ピクセルあたりの有効ビット数を設定するために使用されます。

- 1 BPP
- 4 BPP
- 8 BPP、既定値

1 BPP

4 BPP

* 8 BPP

注釈

JPEG イメージは常に 8 BPP を使用し、このパラメーターの影響を受けません。

画像解像度

行と列を削除して画像データのサイズを小さくする代わりに、画像圧縮の前にキャプチャ解像度を下げるために使用されます。

オプション	価値	トリミングされていない画像サイズ
Full Resolution	00h	752 x 480
1/2 Resolution	01h	376 x 240
1/4 Resolution	03h	188 x 120

* フル解像度

1/2 解像度

1/4 解像度

画像の補正とトリミング

ファジィ一次元処理

わずかにぼやけていたり、エッジが不明瞭な 1D バーコードの読み取り能力を高めるために使用されます。

- Disable
- Enable、既定値

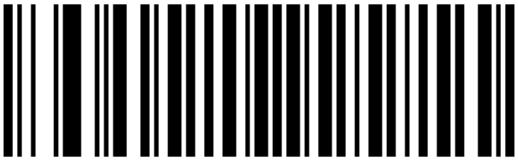
ブラー 1D 処理を無効にする

* ぼかした 1D 処理を有効にする

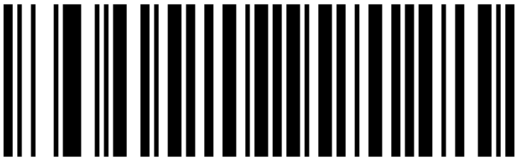
鏡像

出力イメージをミラーリングするかどうかを制御するために使用されます。

- Disable、既定値
- Enable



* 画像ミラーリングを無効にする



画像ミラーリングを有効にする

画像補正

エッジの鮮明化とコントラストの強調を通じて、画像の外観と雰囲気を向上させるために使用されます。

- Off (0)
- Low (1)、既定値
- Medium (2)
- High (3)
- User (4)

画像強調無効 (0)

* 画像補正低 (1)

画像補正 (2)

画像強調高 (3)

画像補正ユーザーカスタマイズ (4)

User を選択した後、「画像エッジシャープニング」と「画像コントラスト強調」を個別に設定する必要もあります。

画像のコントラストの強調

「イメージ強化」が User に設定されている場合にのみ有効です。

- Disable
- Enable、既定値

画像のコントラスト強調を無効にする

* 画像のコントラスト強調を有効にする

画像の回転

出力画像の回転角度を制御するために使用されます。

- Rotate 0°、既定値
- Rotate 90°
- Rotate 180°
- Rotate 270°

* 0° 回転

90° 回転

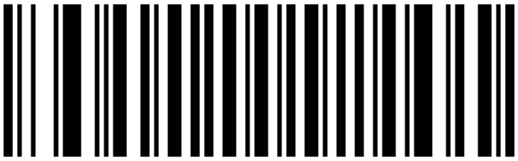
180° 回転

270° 回転

画像のエッジをシャープにする

「Image Enhancement」が `User` に設定されている場合にのみ有効になります。3 桁の数値を手動で入力することも、推奨値を直接使用することもできます。

- `Off (0)`
- `Low (30)`、既定値
- `Medium (75)`
- `High (100)`



画像エッジシャープ設定コード

シャープニングが無効 (0)

* シャープロー (30)

研ぎ (75)

シャープハイ (100)

画像のトリミング

スクリーンショットをトリミングするかどうかを制御するために使用されます。

- `Enable Image Cropping`
- `Disable Image Cropping` (既定) は完全な `742 x 480` イメージを使用します

> **注釈**
>
> デバイスのクロップ解像度は 4 ピクセルです。トリミングサイズが 3 ピクセル未満に設定されている場合、実際には画像全体が転送されます。

画像のトリミングを有効にする

* 画像のトリミングを無効にする

ピクセルアドレスによるクロップ

画像のトリミングが有効な場合、トリミング領域をピクセル座標で設定できます。

- 列座標範囲: 0 ～751
- 行座標範囲: 0 ～479

たとえば、右下隅の 4 x 8 領域は次のように設定できます。

- Top = 476
- Bottom = 479
- Left = 744
- Right = 751

> **注釈**
>
> トリミングの最小粒度は 4 ピクセルで、4 の倍数以外は切り上げられます。

JPEG 画像オプション

JPEG イメージの品質を最適化するかサイズを最適化するかを選択できます。

- JPEG Quality Selector、既定値
- JPEG Size Selector

JPEG 品質とサイズ

JPEG 品質値またはターゲットサイズ値を入力するには:

- JPEG Quality Value 既定値 065、範囲 5 ～100
- JPEG Size Value 既定値 160、範囲 5 ～350

ここで、JPEG Size Value は 1024 バイトの単位です。たとえば、008 は、最大約 8192 バイトを表します。

画像ファイル形式

スナップショットの保存形式を選択します。

- BMP File Format
- JPEG File Format、既定値
- TIFF File Format

12.5 バーコード設定

一般的な指示

- ほとんどのバーコードパラメータは、設定コードをスキャンすることで有効になります。
- 長さ、冗長性、タイムアウトなどの数値パラメータは、通常、最初に入口となる設定コードを読み取り、次に数字設定コードを読み取って設定します。
- 入力プロセス中にエラーが発生した場合は、Cancel をスキャンして、現在の入力シーケンスをキャンセルします。

すべてのエンコーディングを無効にする

すべてのエンコーディングが無効になっています

すべてのエンコーディングを無効にする

UPC/EAN

UPC-A の有効/無効

* UPC-A を有効にする

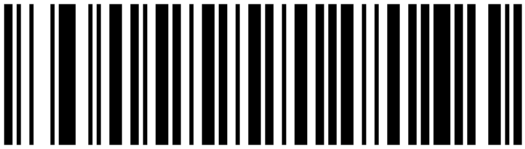
UPC-A を無効にする

UPC-E の有効/無効

* UPC-E を有効にする

UPC-E を無効にする

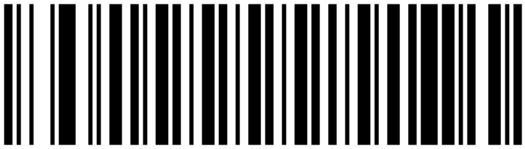
UPC-E1 の有効/無効



UPC-E1 を有効にする

* UPC-E1 を無効にする

EAN-8/JAN-8 の有効/無効



* EAN-8/JAN-8 を有効にする

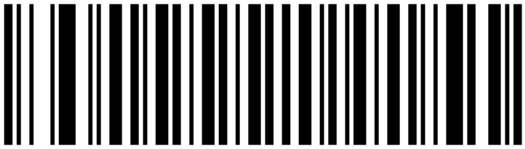
EAN-8/JAN-8 を無効にする

EAN-13/JAN-13 の有効/無効

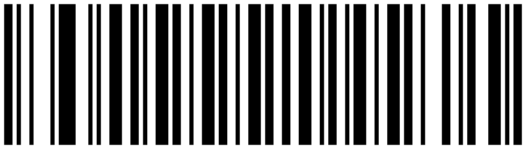
* EAN-13/JAN-13 を有効にする

EAN-13/JAN-13 を無効にする

Bookland EAN の有効/無効

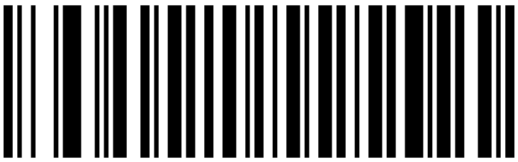


* Bookland EAN を有効にする

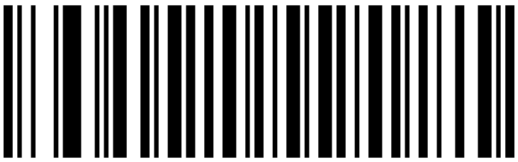


Bookland EAN を無効にする

ブックランドの ISBN 形式



* ブックランド ISBN-10



Bookland ISBN-13

UPC/EAN/JAN 追加コード読み取りモード

追加コードを含む UPC/EAN/JAN のみを読み取ります

* 追加のコードを無視します

UPC/EAN/JAN アドオンコードを自動的に決定

378/379 アドオンコードモードを有効にする

978/979 アドオンコードモードを有効にする

977 アドオンコードモードを有効にする

414/419/434/439 アドオンコードモードを有効にする

491 追加モードを有効にする

スマート追加モードを有効にする

カスタムアドオンコードパターン

アドオンコードユーザープログラマブルタイプ 1

ユーザーがプログラム可能なアドオンコードタイプ 1 および 2

スマートなアドオンコード + ユーザーがプログラム可能 1

スマートなアドオンコード + ユーザーがプログラム可能な 1 および 2

カスタム拡張コードの種類

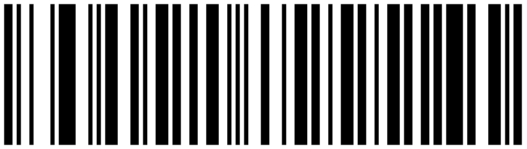
ユーザーがプログラム可能なアドオンコード 1

ユーザーがプログラム可能なアドオンコード 2

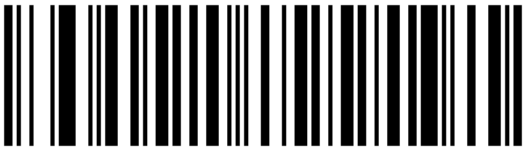
追加のコード冗長性

UPC/EAN/JAN アドオンコードの冗長化

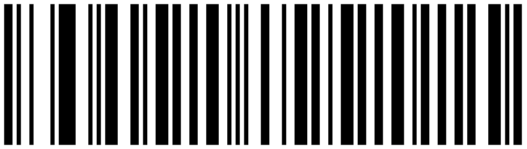
追加コード伝送フォーマット



分離



* 組み合わせ



別送

UPC-A チェックデジットの送信

*UPC-A チェックデジットを送信します

UPC-A チェックデジットを送信しない

UPC-E チェックデジットの送信

*UPC-E チェックデジットを送信します

UPC-E チェックデジットを送信しない

UPC-E1 チェックデジットの送信

*UPC-E1 チェックデジットを送信します

UPC-E1 チェックデジットを送信しない

UPC-A プリアンブル

プリアンブルなし ()

* システム文字 ( )

システム文字と国コード (< COUNTRY CODE>)

UPC-E プリアンブル

プリアンブルなし ()

* システム文字 ( )

システム文字と国コード (< COUNTRY CODE>)

UPC-E1 プリアンブル

プリアンブルなし ()

* システム文字 ( )

システム文字と国コード (< COUNTRY CODE>)

UPC-E が UPC-A に変換されました

UPC-E が UPC-A に変換されました (有効)

* UPC-E を UPC-A に変換しません (無効)

UPC-E1 を UPC-A に変換

UPC-E1 を UPC-A に変換 (有効)

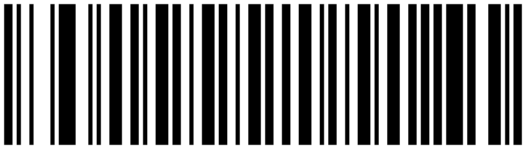
* UPC-E1 を UPC-A に変換しません (無効)

EAN/JAN ゼロ拡張

EAN/JAN ゼロ拡張を有効にする

* EAN/JAN ゼロ拡張を無効にする

UCC クーポン延長コード



UCC クーポン拡張コードを有効にする

* UCC クーポン拡張コードを無効にする

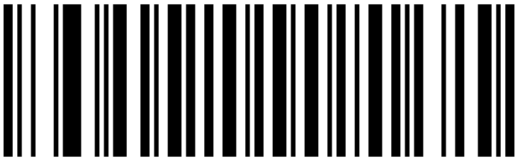
クーポンコードの形式

旧バージョンのクーポンコード

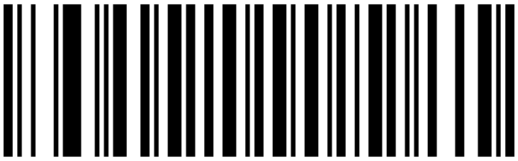
* 新しいバージョンのクーポンコード

2 つのクーポン形式

ISSN EAN の有効/無効



ISSN EAN を有効にする



* ISSN EAN を無効にする

Code 128

Code 128 の有効/無効

* Code 128 を有効にする

Code 128 を無効にする

Code 128 長さの設定

Code 128 - 単一の固定長

Code 128 - 2 つの固定長

Code 128 - 長さの範囲

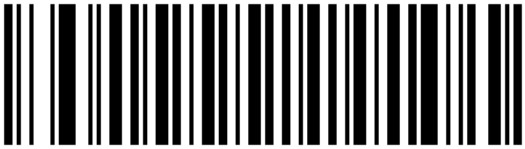
* Code 128 - 任意の長さ

GS1-128 の有効/無効

* GS1-128 を有効にする

GS1-128 を無効にする

ISBT 128 の有効/無効



* ISBT 128 を有効にする

ISBT 128 を無効にする

ISBT 接続モード

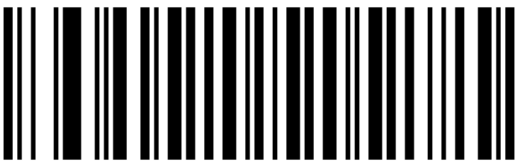
* ISBT 接続を無効にする

ISBT 接続を有効にする

ISBT 接続を自動的に識別する

ISBT テーブルの検証

* ISBT テーブル検証を有効にする



ISBT テーブル検証を無効にする

ISBT 接続の冗長化

ISBT 接続の冗長化

Code 39

Code 39 の有効/無効

* Code 39 を有効にする

Code 39 を無効にする

Trioptic Code 39 の有効/無効

Trioptic Code 39 を有効にする

* Trioptic Code 39 を無効にする

Code 39 から Code 32

Code 39 を Code 32 に有効にする

* Code 32 に対する Code 39 を無効にする

Code 32 プレフィックス

Code 32 プレフィックスを有効にする

* Code 32 プレフィックスを無効にする

Code 39 長さの設定

Code 39 - 単一の固定長

Code 39 - 2 つの固定長

* Code 39 - 長さの範囲

Code 39 - 任意の長さ

Code 39 チェックデジット

Code 39 チェックデジットを有効にする

* Code 39 チェックデジットを無効にする

Code 39 チェックデジットの送信

Code 39 チェックデジットの送信 (有効)

* Code 39 チェックデジットを送信しない (無効)

Code 39 Full ASCII

Code 39 Full ASCII を有効にする

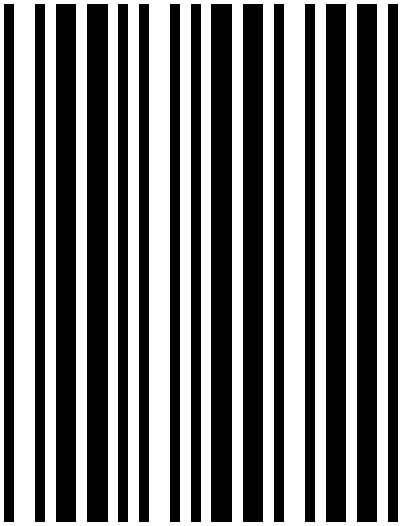
* Code 39 Full ASCII を無効にする

Code 39 バッファーモード

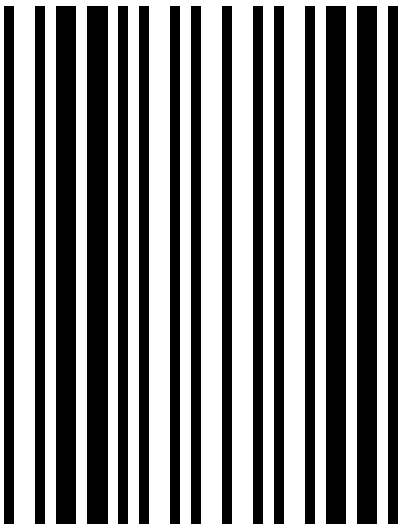
バッファ Code 39 (有効)

* Code 39 をバッファしない (無効)

Code 39 バッファ制御



バッファをクリアする



送信バッファ

Code 93

Code 93 の有効/無効

Code 93 を有効にする

* Code 93 を無効にする

Code 93 の長さの設定

Code 93 - 単一の固定長

Code 93 - 2 つの固定長

* Code 93 - 長さの範囲

Code 93 - 任意の長さ

Code 11

Code 11 の有効/無効

Code 11 を有効にする

* Code 11 を無効にする

Code 11 の長さ設定

Code 11 - 単一の固定長

Code 11 - 2 つの固定長

* Code 11 - 長さの範囲

Code 11 - 任意の長さ

Code 11 チェックデジット番号

* 無効にする

チェックデジット

2 つのチェックデジット

Code 11 チェックデジットの送信

Code 11 チェックデジットの送信 (有効)

* Code 11 チェックデジットを送信しない (無効)

Interleaved 2 of 5 (ITF)

Interleaved 2 of 5 の有効/無効

Interleaved 2 of 5 を有効にする

* Interleaved 2 of 5 を無効にする

Interleaved 2 of 5 の長さ設定

* I 2 of 5 - 単一の固定長

I 2 of 5 - 2 つの固定長

I 2 of 5 - 長さの範囲

I 2/5 - 任意の長さ

Interleaved 2 of 5 検証方法

* 無効にする

USS チェックデジット

OPCC チェックデジット

インターリーブ 2 of 5 チェックデジット送信

I 2 of 5 パリティ桁の送信 (有効)

* I 2 of 5 チェックデジットを送信しない (無効)

Interleaved 2 of 5 から EAN-13

I 2 of 5 は EAN-13 に変換されます (有効)

* I 2 of 5 を EAN-13 に変換しません (無効)

Discrete 2 of 5 (DTF)

Discrete 2 of 5 の有効/無効

Discrete 2 of 5 を有効にする

* Discrete 2 of 5 を無効にする

Discrete 2 of 5 の長さ設定

* D 2 of 5 - 単一の固定長

D 2/5 - 2 つの固定長

D 2/5 - 長さの範囲

D 2/5 - 任意の長さ

Codabar (NW-7)

Codabar の有効/無効

Codabar を有効にする

* Codabar を無効にする

Codabar の長さの設定

Codabar - 単一の固定長

Codabar - 2 つの固定長

* Codabar - 長さの範囲

Codabar - 任意の長さ

CLSI 編集者

CLSI 編集を有効にする

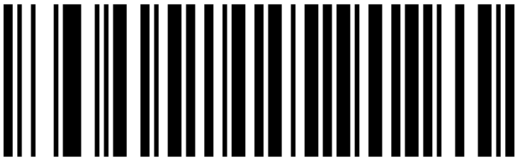
* CLSI 編集を無効にする

通知編集

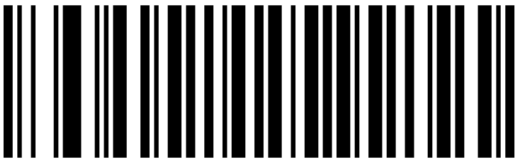
NOTIS 編集を有効にする

* NOTIS 編集を無効にする

開始文字/終了文字の大文字と小文字



小文字



* 大文字

MSI

MSI の有効/無効

MSI を有効にする

* MSI を無効にする

MSI の長さの設定

MSI - 単一の固定長

MSI - 2 つの固定長

* MSI - 長さの範囲

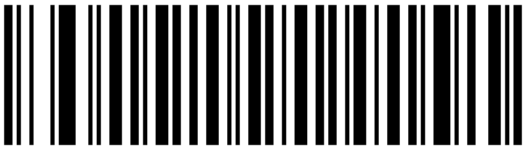
MSI - 任意の長さ

MSI チェックデジット番号

* MSI チェックデジット

2 つの MSI チェックデジット

MSI チェックデジット送信



MSI チェックデジットの送信（有効）

* MSI チェックデジットを送信しない (無効)

Chinese 2 of 5

中国語 2 of 5 チェックアルゴリズム

MOD 10/MOD 11

* MOD 10/MOD 10

Chinese 2 of 5 の有効/無効

中国語 2/5 を有効にする

* Chinese 2 of 5 を無効にする

Matrix 2 of 5

Matrix 2 of 5 の有効/無効

Matrix 2 of 5 を有効にする

* Matrix 2 of 5 を無効にする

Matrix 2 of 5 の長さ設定

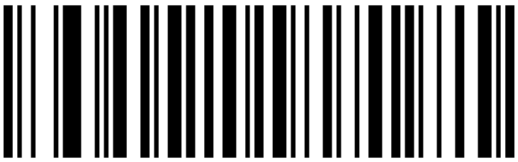
* 行列 2/5 - 単一の固定長

Matrix 2 of 5 - 2 つの固定長

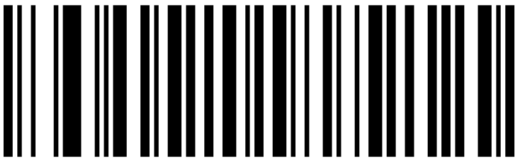
Matrix 2 of 5 - 長さの範囲

Matrix 2 of 5 - 任意の長さ

Matrix 2 of 5 チェックデジット

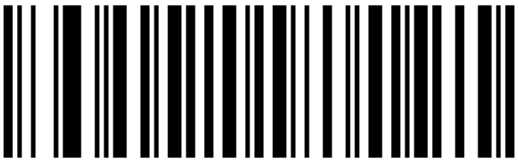


Matrix 2 of 5 チェックデジットを有効にする

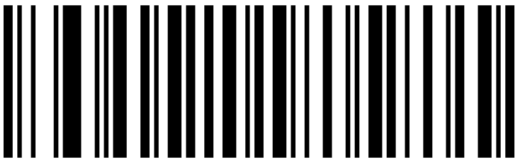


* 5 チェックデジットの行列 2 を無効にする

Matrix 2 of 5 チェックデジットの送信



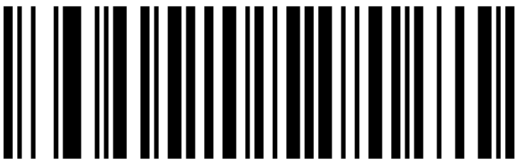
Matrix 2 of 5 チェックデジットを送信



* 5 チェックデジットの行列 2 を送信しないでください

Korean 3 of 5

Korean 3 of 5 の有効/無効



Korean 3 of 5 を有効にする

* Korean 3 of 5 を無効にする

反転カラー 1D バーコード

反転読取モード

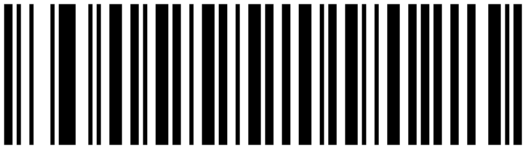
* 一般的な

色のみを反転

反転色の自動検出

郵便番号

US Postnet の有効/無効



US Postnet を有効にする

* US Postnet を無効にする

US Planet の有効/無効

US Planet を有効にする

* 米国の惑星を無効にする

米国の郵便チェックデジットの送信

米国郵便のチェックデジットが送信されない

UK Postal の有効/無効

UK Postal を有効にする

* UK Postal を無効にする

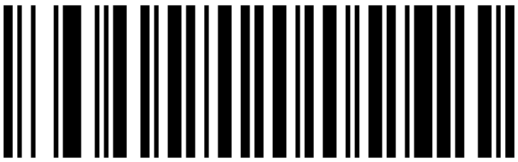
英国の郵便チェックデジットの送信

*UK Postal チェックデジットを送信する

UK Postal のチェックデジットを送信しないでください

Japan Postal の有効/無効

Japan Postal を有効にする



* Japan Postal を無効にする

Australia Post の有効/無効

オーストラリア郵便を有効にする

* オーストラリア郵便を無効にする

オーストラリアの郵便フォーマット

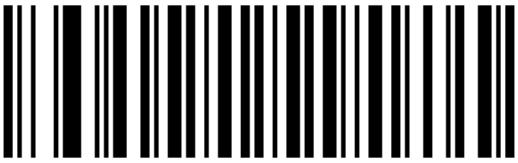
* 自動識別

オリジナルフォーマット

英数字エンコーディング

デジタルエンコーディング

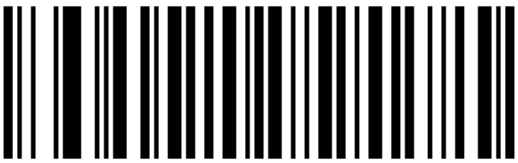
Netherlands KIX Code の有効/無効



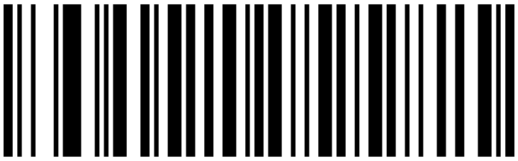
オランダの KIX コードを有効にする

* オランダの KIX コードを無効にする

USPS 4CB/ワンコード/インテリジェントメールの有効/無効



USPS 4CB/ワンコード/インテリジェントメールを有効にする



* USPS 4CB/ワンコード/インテリジェントメールを無効にする

UPU FICS 郵便交換局

UPU FICS 郵便を有効にする

* UPU FICS 郵便を無効にする

GS1 DataBar

GS1 DataBar の有効/無効

* GS1 DataBar を有効にする

GS1 DataBar を無効にする

GS1 DataBar 限定の有効/無効

GS1 DataBar 限定を有効にする

* GS1 DataBar Limited を無効にする

GS1 DataBar 限定セキュリティレベル

セキュリティレベル 1

セキュリティレベル 2

* セキュリティレベル 3

セキュリティレベル 4

GS1 DataBar 拡張の有効/無効

* GS1 DataBar の展開を有効にする

GS1 DataBar 展開を無効にする

GS1 DataBar から UPC/EAN へ

GS1 DataBar を UPC/EAN に有効にする

* UPC/EAN への GS1 DataBar を無効にする

複合複合コード

CC-C の有効/無効

* CC-C を無効にする

CC-A/B の有効/無効

* CC-A/B を無効にする

TLC39 の有効/無効

TLC39 を有効にする

* TLC39 を無効にする

複合コードのビープ音プロンプト

すべてのデコード後にビープ音が 1 回鳴ります

* シンボル体系がデコードされるたびにブザーを 1 回鳴らします

すべてのデコード後にビープ音が 2 回鳴ります

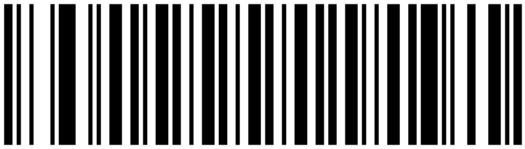
UCC/EAN 複合コード GS1-128 シミュレーション

UCC/EAN 複合コードの GS1-128 エミュレーションモードを有効にする

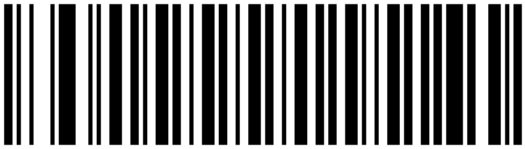
* UCC/EAN 複合コードの GS1-128 エミュレーションモードを無効にします

QR コード

PDF417 の有効/無効

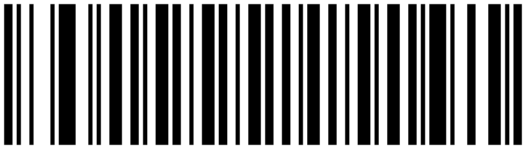


* PDF417 を有効にする

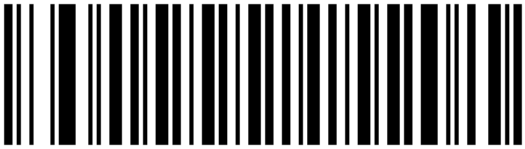


PDF417 を無効にする

MicroPDF417 の有効/無効



MicroPDF417 を有効にする



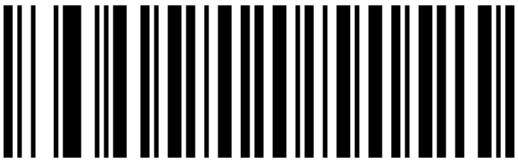
* MicroPDF417 を無効にする

MicroPDF417 Code 128 シミュレーション

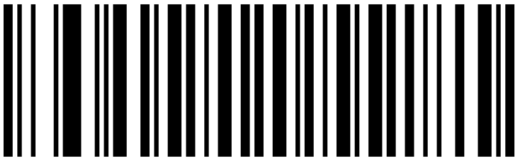
Code 128 エミュレーションを有効にする

* Code 128 エミュレーションを無効にする

Data Matrix の有効/無効



* Data Matrix を有効にする



Data Matrix を無効にする

Data Matrix 反転読取

* 一般的な

色のみを反転

反転色の自動検出

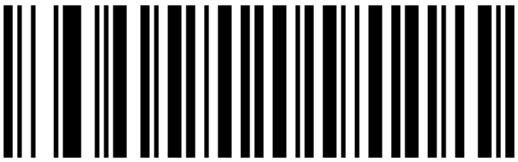
Data Matrix ミラー読み取り

一度もない

いつも

* 自動

MaxiCode の有効/無効



MaxiCode を有効にする

* MaxiCode を無効にする

QR Code の有効/無効

* QR Code を有効にする

QR Code を無効にする

QR Code 反転読取

* 一般的な

色のみを反転

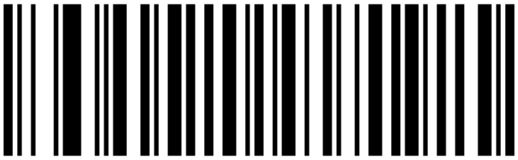
反転色の自動検出

MicroQR の有効/無効

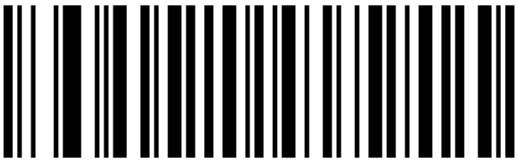
* MicroQR を有効にする

MicroQR を無効にする

Aztec の有効/無効



* Aztec を有効にする



Aztec を無効にする

Aztec の逆カラー読み取り

従来の

色のみを反転

* 反転色を自動的に検出します

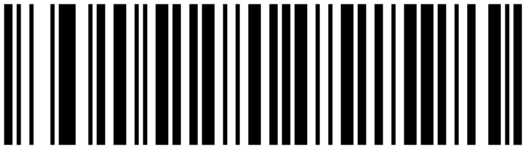
冗長性レベル

冗長性レベル

* 冗長性レベル 1

冗長性レベル 2

冗長性レベル 3



冗長性レベル 4

セキュリティレベル

セキュリティレベル

セキュリティレベル 0

* セキュリティレベル 1

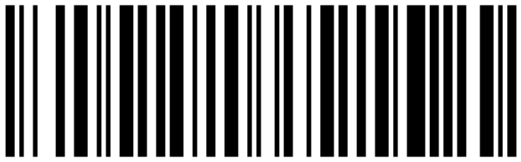
セキュリティレベル 2

セキュリティレベル 3

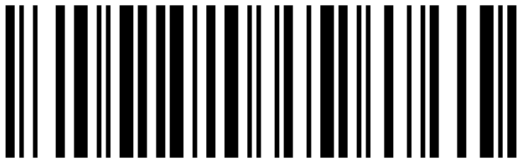
文字ギャップサイズ

文字ギャップサイズ

Code 39 および Codabar シンボル体系の文字ギャップ許容値を調整するために使用されます。バーコード印刷により文字ギャップが標準範囲を超える場合は、より大きな文字ギャップを選択してエラー耐性を向上させることができます。



* 通常の文字ギャップ



キャラのギャップが大きい

マクロ PDF の機能

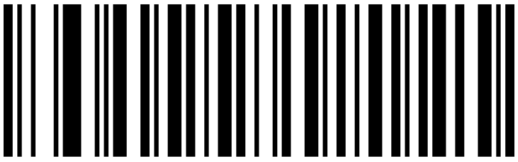
マクロ PDF 転送/デコードモード

すべてのシンボルをバッファリング / 完了したらマクロ PDF を転送

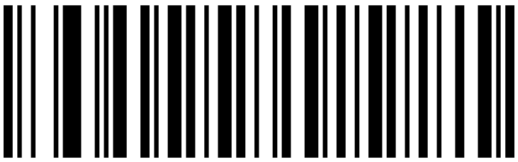
セット内の任意のシンボルを順不同で送信します

* すべてのシンボルを透過的に送信します

マクロ PDF 制御ヘッダーとエスケープ文字



マクロ PDF コントロールヘッダー送信を有効にする



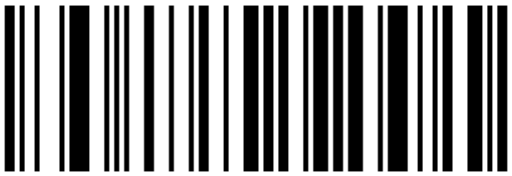
* マクロ PDF コントロールヘッダーの送信を無効にする

GLI プロトコル

* なし

マクロ PDF バッファー制御

マクロ PDF バッファーをクリア



マクロ PDF インポートを中止する

12.6 読取モジュール文字表

接尾辞、接尾辞および文字値の表

プレフィックス/サフィックス値テーブル

要点は次のとおりです。

- Prefix/Suffix Values 4 桁で設定
- 番号 1 はボタンカテゴリです
- 最後の 3 桁は 10 進数の文字値です
- 詳細な値のテーブルは Table E-1 にあります。

いくつかの端末の既定パラメータのうち、プレフィックスとサフィックスの一般的な既定値は次のとおりです。

- STX (1002)
- CR (1013)
- ETX (1003)

FN1 置換値テーブル

EAN-128 の FN1 の置換値を設定するために使用されます。

規則は次のとおりです。

- 既定値: 7013、つまり Enter

セットアップ手順:

1. Set FN1 Substitution Value をスキャン
2. 現在のホストインターフェイスの ASCII 文字テーブルでターゲットキーの値を見つけます。
3. 対応する 4 桁の値を入力してください

ホストコマンドで設定する場合は、まず Key Category を 1 に設定し、次に 3 桁のキー値を設定します。

12.7 読取モジュール設定コード

参考設定コード

数字設定コード

長さ、タイムアウト、明るさ、アドレスなどの数値パラメータを入力するために使用されます。このセクションでは、0 から 9 までの数字設定コードを示します。

数字の 0

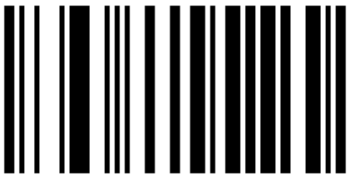
ナンバー 1

番号 2

番号 3

4 番

5 番



6 番

7 番

8 番

9 番

入力をキャンセルする

値を設定するときに、現在の入力を取り消して最初からやり直すために使用します。

入力をキャンセルする

13 付録

13.1 文字検索テーブル

ASCII ファンクションキー文字比較表

00H-0FH

HEX	CODE	* 構成 0	Config3	Config1	Config4	Config2 Windows	Config5 Windows
00H	NUL	NUL	NUL	Ctrl+@	Ctrl+@	ALT+000	ALT+000
01H	SOH	NUL	NUL	Ctrl+A	Ctrl+A	ALT+001	ALT+001
02H	STX	NUL	NUL	Ctrl+B	Ctrl+B	ALT+002	ALT+002
03H	ETX	NUL	NUL	Ctrl+C	Ctrl+C	ALT+003	ALT+003
04H	EOT	NUL	NUL	Ctrl+D	Ctrl+D	ALT+004	ALT+004
05H	ENQ	NUL	NUL	Ctrl+E	Ctrl+E	ALT+005	ALT+005
06H	ACK	NUL	NUL	Ctrl+F	Ctrl+F	ALT+006	ALT+006
07H	BEL	NUL	NUL	Ctrl+G	Ctrl+G	ALT+007	ALT+007
08H	BS	Backspace	Backspace	Ctrl+H	Ctrl+H	ALT+008	ALT+008
09H	HT	TAB	TAB	TAB	Ctrl+I	ALT+009	ALT+009
0AH	LF	NUL	Enter	Ctrl+J	Ctrl+J	ALT+010	ALT+010
0BH	VT	TAB	TAB	Ctrl+K	Ctrl+K	ALT+011	ALT+011
0CH	FF	NUL	NUL	Ctrl+L	Ctrl+L	ALT+012	ALT+012
0DH	CR	Enter	Enter	Enter	Ctrl+M	Enter	ALT+013
0EH	SO	NUL	NUL	Ctrl+N	Ctrl+N	ALT+014	ALT+014
0FH	SI	NUL	NUL	Ctrl+O	Ctrl+O	ALT+015	ALT+015

10H-1FH

HEX	CODE	* 構成 0/3	Config1/4	Config2/5 Windows
10H	DLE	NUL	Ctrl+P	ALT+016
11H	DC1	NUL	Ctrl+Q	ALT+017
12H	DC2	NUL	Ctrl+R	ALT+018
13H	DC3	NUL	Ctrl+S	ALT+019
14H	DC4	NUL	Ctrl+T	ALT+020
15H	NAK	NUL	Ctrl+U	ALT+021
16H	SYN	NUL	Ctrl+V	ALT+022
17H	ETB	NUL	Ctrl+W	ALT+023
18H	CAN	NUL	Ctrl+X	ALT+024
19H	EM	NUL	Ctrl+Y	ALT+025
1AH	SUB	NUL	Ctrl+Z	ALT+026
1BH	ESC	ESC	Ctrl+[	ALT+027
1CH	FS	NUL	Ctrl+\	ALT+028
1DH	GS	NUL	Ctrl+]	ALT+029
1EH	RS	NUL	Ctrl+^	ALT+030
1FH	US	NUL	Ctrl+-	ALT+031

注釈

Mac システムでは、Ctrl キーは Command キーに対応します。

ASCII 文字比較表

20H-5FH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(	38H	8	48H	H	58H	X
29H	)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH	]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_

60H-9DH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	Fun Key	HEX	Fun Key
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl
68H	h	78H	x	88H	F9	98H	* シフト
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	* 左 Alt
6AH	j	7AH	z	8AH	F11	9AH	* 右 Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	9BH	1s Delay
6CH	l	7CH	|	8CH	Insert	9CH	*Win-GUI
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	9DH	* キーストローク
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up		
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete		

注釈

Ctrl、Shift、Alt、GUI をプレフィックスまたはサフィックスとして設定すると、次の文字と組み合わせて出力されます (ALT、TH キーボードに設定した場合はサポートされません)。キーストローク後の文字がそのままキー値として出力されます。